

V 用語一覧

<施策順>

施策 No.	用語	意味
I-1-(1)	家庭学習チームシート	国頭地区における学力向上推進に係る取組の一つ。自主的に家庭学習に取り組めるように、学校ごとに学年単位、低・中・高学年単位等でチームを組み学校における実践事項をまとめたシートのこと。
I-1-(2)	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。
I-1-(2)	キャリアパスポート	自らの学習状況やキャリア形成見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価出来る様工夫されたポートフォリオのこと。
I-1-(2)	ジョブシャドウイング	児童が企業の社員に半日又は1日、密着し職場での仕事について観察して学ぶ取り組みのこと。
I-1-(3)	通級	特別支援教育の制度の一つで、軽度の障害がある児童が通常の学級に在籍しているながら、通級指導教室で特別の教育を受けることの出来る制度のこと。
I-1-(3)	特別支援教育	障害のある児童の自立や主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う教育のこと。
I-1-(5)	キャリアステージ	組織内における役割分担のレベルを示す基本的な考え方。
I-1-(5)	小一プロブレム	小学校へ入学したばかりの1年生が、話を聞かない、授業中椅子に座ってられないなど小学校生活になかなか馴染めない状態が数ヵ月継続する状態のこと。
I-1-(5)	ソーシャルスキル	社会の中で普通に他人と交わり、共に生活していくために必要な能力。
I-1-(5)	スタートカリキュラム	小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成した第1学年入学当初の教育課程のこと。
I-1-(5)	保幼小	保育園・幼稚園・認定こども園・小学校
I-1-(5)	幼保連携型認定こども園	幼稚園機能と保育所機能の両方を合わせて持つ単一の施設で小学校就学前の子供の教育・保育・子育て支援を一体的に提供する施設。
I-2-(1)	ICT	情報通信技術 (Information and communications technology)
I-2-(1)	デジタル教科書	紙の教科書の内容全てを電子黒板やタブレットなどにデジタル化した教材。
I-2-(1)	GIGA スクール構想	多様な子供達を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現するため、1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備すること。GIGA (Global and Innovation Gateway for All)
I-2-(2)	イマージョン教育	英語を教科として学ぶのではなく、英語はあくまで手段として理科や算数などの教科を、英語を媒介として学んでいく教育法。
I-2-(2)	コミュニティ・スクール	学校と地域住民等がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みのこと。

I-2-(2)	TT 授業	チーム・ティーチングの略で複数の教員が役割を分担し協力しながら指導計画を立て指導する方式のこと。
I-2-(2)	統合型校務支援システム	教務系、保健系、学校事務系など統合した機能を有しているシステムを指し、広く「校務」と呼ばれる業務全般となる機能を実施したシステムのこと。
I-2-(2)	乗り入れ授業	小学校の先生が中学校へ、中学校の先生が小学校へ行って授業を教えること。
I-2-(3)	PFI	民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと。（Private Finance Initiative）
II-1-(2)	フィールドワーク	現地を実際に訪れ直接観察したり、関係者に聞き取り調査を行うなどして、現地での資料採取を行うこと。
II-1-(3)	シンポジウム	一つの問題について何人かが異なる面から意見を述べ合い、質疑応答を繰り返す形の討論会。
II-2-(1)	ブックスタート	赤ちゃんとその保護者に絵本の読み聞かせ体験と絵本1冊をプレゼントすること。
II-2-(1)	ベストリーダー	よく読まれた本、貸し出しの多かった本のこと。
II-2-(1)	レファレンスサービス	図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が利用者の調べ物をサポートする業務。
II-2-(2)	サービスポイント	利用者が図書館サービスを受ける場のこと。移動図書館「がじまる号」の巡回場所。
II-3-(1)	アウトリーチ	家庭や日常生活の場に出向きサービスや活用可能なサービスの情報を届けること。
II-3-(1)	ワークショップ	参加者自身が討論に加わったり、体を使って体験したりするなど、参加体験型、双方向性のグループ学習。
II-4-(1)	e スポーツ	通称エレクトロニック・スポーツでコンピュータゲームをスポーツ・競技として捉える際の名称。
II-5-(1)	チュックボール	弾力のあるネットに、ボールをシュートしあうゲームで、ハンドボールによく似たスポーツのこと。
II-5-(3)	スポーツコンベンション	屋内、屋外競技の全般を対象とし、コンベンション（大会・集会）という視点からスポーツにおけるキャンプ、合宿、大会、イベント、試合、自主トレなどが含まれる。
III-1-(2)	親の学びあいプログラム	沖縄県が推奨する、学校や幼稚園、身近な地域でお互いに交流しながら、楽しく学び合うことができる参加型（ワークショップ型）学習プログラムのこと。
III-1-(2)	やーなれー運動	沖縄県が推奨する、家庭、学校、地域が連携し、家庭教育力の向上を図る運動のこと。 「やーなれーる ふかなれー」：家庭でのしつけや習慣が外に出たときのかがみになるという意味を持ち、こどもの健やかな成長にとって家庭教育は大切だということ。

<五十音順>

	用語	意味	施策 No.
ア	ICT	情報通信技術 (Information and communications technology)	I-2-(1)
	アウトリーチ	家庭や日常生活の場に出向きサービスや活用可能なサービスの情報を届けること。	II-3-(1)
	e スポーツ	通称エレクトロニック・スポーツでコンピュータゲームをスポーツ・競技として捉える際の名称。	II-4-(1)
	イマージョン教育	英語を教科として学ぶのではなく、英語はあくまで手段として理科や算数などの教科を、英語を媒介として学んでいく教育法。	I-2-(2)
	親の学びあいプログラム	沖縄県が推奨する、学校や幼稚園、身近な地域でお互いに交流しながら、楽しく学び合うことができる参加型（ワークショップ型）学習プログラムのこと。	III-1-(2)
カ	家庭学習チームシート	国頭地区における学力向上推進に係る取組の一つ。自主的に家庭学習に取り組めるように、学校ごとに学年単位、低・中・高学年単位等でチームを組み学校における実践事項をまとめたシートのこと。	I-1-(1)
	GIGA スクール構想	多様な子供達を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現するため、1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備すること。GIGA (Global and Innovation Gateway for All)	I-2-(1)
	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。	I-1-(2)
	キャリアステージ	組織内における役割分担のレベルを示す基本的な考え方。	I-1-(5)
	キャリアパスポート	自らの学習状況やキャリア形成見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価出来る様工夫されたポートフォリオのこと。	I-1-(2)
	コミュニティ・スクール	学校と地域住民等がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みのこと。	I-2-(2)
サ	サービスポイント	利用者が図書館サービスを受ける場のこと。移動図書館「がじまる号」の巡回場所。	II-2-(2)
	小一プロブレム	小学校へ入学したばかりの1年生が、話を聞かない、授業中椅子に座ってられないなど小学校生活になかなか馴染めない状態が数ヵ月継続する状態のこと。	I-1-(5)
	ジョブシャドウイング	児童が企業の社員に半日又は1日、密着し職場での仕事について観察して学ぶ取り組みのこと。	I-1-(2)
	シンポジウム	一つの問題について何人かが異なる面から意見を述べ合い、質疑応答を繰り返す形の討論会。	II-1-(3)
	スタートカリキュラム	小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していける ように編成した第1学年入学当初の教育課程のこと。	I-1-(5)
	スポーツコンベンション	屋内、屋外競技の全般を対象とし、コンベンション（大会・集会）という視点からスポーツにおけるキャンプ、合宿、大会、イベント、試合、自主トレなどが含まれる。	II-5-(3)

	ソーシャルスキル	社会の中で普通に他人と交わり、共に生活していくために必要な能力。	I-1-(5)
タ	チックボール	弾力のあるネットに、ボールをシュートしあうゲームで、ハンドボールによく似たスポーツのこと。	II-5-(1)
	通級	特別支援教育の制度の一つで、軽度の障害がある児童が通常の学級に在籍しながら、通級指導教室で特別の教育を受けることの出来る制度のこと。	I-1-(3)
	TT 授業	チーム・ティーチングの略で複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導計画を立て指導する方式のこと。	I-2-(2)
	デジタル教科書	紙の教科書の内容全てを電子黒板やタブレットなどにデジタル化した教材。	I-2-(1)
	統合型校務支援システム	教務系、保健系、学校事務系など統合した機能を有しているシステムを指し、広く「校務」と呼ばれる業務全般となる機能を実施したシステムのこと。	I-2-(2)
	特別支援教育	障害のある児童の自立や主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う教育のこと。	I-1-(3)
ナ	乗り入れ授業	小学校の先生が中学校へ、中学校の先生が小学校へ行って授業を教えること。	I-2-(2)
ハ	PFI	民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと。（Private Finance Initiative）	I-2-(3)
	フィールドワーク	現地を実際に訪れ直接観察したり、関係者に聞き取り調査を行うなどして、現地での資料採取を行うこと。	II-1-(2)
	ブックスタート	赤ちゃんとその保護者に絵本の読み聞かせ体験と絵本1冊をプレゼントすること。	II-2-(1)
	ベストリーダー	よく読まれた本、貸し出しの多かった本のこと。	II-2-(1)
	保幼こ小	保育園・幼稚園・認定こども園・小学校	I-1-(5)
ヤ	やーなれー運動	沖縄県が推奨する、家庭、学校、地域が連携し、家庭教育力の向上を図る運動のこと。 「やーなれーる ふかなれー」：家庭でのしつけや習慣が外に出たときのかがみになるという意味を持ち、こどもの健やかな成長にとって家庭教育は大切だということ。	III-1-(2)
	幼保連携型認定こども園	幼稚園機能と保育所機能の両方を合わせて持つ単一の施設で小学校就学前の子供の教育・保育・子育て支援を一体的に提供する施設。	I-1-(5)
ラ	レファレンスサービス	図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が利用者の調べ物をサポートする業務。	II-2-(1)
ワ	ワークショップ	参加者自身が討論に加わったり、体を使って体験したりするなど、参加体験型、双方向性のグループ学習。	II-3-(1)